

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度 第4回朝霞第四小学校学校運営協議会	
開 催 日 時	令和8年3月11日(水) 午後2時00分から4時00分まで	
開 催 場 所	朝霞市朝霞第四小学校 会議室	
出 席 者	・井上 典子 ・一圓 みさき ・坂本 知里 ・原口 憲充(司会・記録:中里明啓)	
会 議 内 容	(1) 学校評価について (2) 本校の課題について ①不登校児童について ②よつばの会の今後	
会 議 資 料	(1)学校関係者評価シート (2)よつばの会 座談会について	
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管(保存年限 年)	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後○か月
その 他 の 必 要 事 項	会議録の確認方法 司会・記録による確認	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1 開会の言葉 開始 午後2時00分 途中14:45 1分間の黙とう
教頭

2 委員長あいさつ(井上 委員長)

本日は3月11日、東日本大震災の時のことを思い出す。当時勤務していた学校でのこと。自分に何ができるか考えさせられた。発生時刻に合わせ黙とうを捧げる。

学校の方もまとめの時期となっている。本日は学校評価についての検討を中心とする。

3 学校長挨拶

学校では震災について繰り返し指導してきた。地震に対する備え、自分の身は自分で守ることを基本として防災教育を進めている。

4 協議

(1)3学期の教育活動について

教頭:3学期の教育活動について写真スライドとともに紹介。6年生は卒業に向けての取組を始めている。4年生の総合的な学習の時間で福祉について学んできた。学習のまとめとして児童一人一人が「しあわせグッズ」を製作し展示、発表を行った。大勢の保護者が来場し、展示品を見て感心していた。同時に児童からの説明もあり、児童同士も完成品を見合った。「探究的な学び」の一端である。

校長:朝霞市では総合的な学習の時間を中核とした「探究的な学び」を推進している。以前、中学校で地域、商店街と連携して活性化につながる実践を行った。本校でも今回の4年生の取組をステップとして、さらに全校に広げていく。

(2)学校評価について

委員長:学校運営協議会委員による学校評価は昨年度、評価を行うための材料が不足していた。

今回は事前に校内の学校評価の詳細を事前に知らせてもらった。今回は適正な評価ができるので、次年度の学校経営に活かしていく。

校長:(1)～(3)の詳細を説明 新体力テストは、楽しい体育を推進した成果が表れた。また、「びよんびよんタイム」「マラソンタイム」も楽しく体力を高められている。校内研修は本発表の後、教科を広がったところ、教職員の意欲がさらに高まり広がった。学力にもよい影響が出ている。

江藤:保護者の視点でいうと、トイレの汚れが目立つ。清掃担当教員が指導できないか。また、業者に依頼することは可能か。

校長:小学校では、教室以外の場所に張り付くのは難しいため、目が行き届かない。業者への依頼は汚物回収のみとなっている。

坂本:「心の本棚」不登校支援室常設等、組織としての取組が可視化されている。職員の肯定的評価が高く、組織としての取組を意識している。

校長:不登校児童の対応「心の本棚」の部屋では、毎日日替わりで地域の方が見守る体制が整っている。

一圓:潜在的な地域の方はまだまだ掘り起こせる。もっと保護者が参加できたり見に行ける授業を増やしてはどうか。関わりが増えると学校に興味を持つ保護者も増えるかもしれない。

(3)本校の課題について

①PTA 組織について

江藤:来年度「よつばの会」のあり方について検討している。次年度の役員を募集し、全保護者に呼びかけている。座談会も数回行う。

委員長:全国的に PTA 縮小の流れ。時勢に合ったあり方が求められる。

②6年生児童死去について

校長:12月7日に本校児童が事故により死去。その対応について説明した。冥福を祈る。

学校だより等を読んでいない人が多い。繰り返し発信していくことが大切

学校の運営に参加する気持ちが大切か。

5 閉会の言葉 開始 午後3時40分

※自己評価シート記入し、解散